

通信教育実施計画

静岡泉洋高等学校

| 年度       | 教科   | 科目            | 単位数    | 年次      |
|----------|--|---------------|--------|---------|
| 2026     | 総合的な探究の時間  | —             | 4      | 1～3     |
| 指導目標     | 実社会・実生活と関わりの深い事象についての探究学習。3年間の中で、「情報社会」「健康」「環境」「進路」「防災」「選挙権」をテーマに学習する。 |               |        |         |
| レポート課題回数 | 4  | 合格枚数          | 教科書    | なし      |
| スクーリング回数 | 8  | 1回のスクーリングは50分 | 副教材    | オリジナル教材 |
| 評価       | 合否のみ   |               | 単位認定試験 | なし      |

|   | 単元・指導計画                       | 指導内容   | レポート | 提出期限       |
|---|-------------------------------|--|------|------------|
| 1 | 「健康」<br>健康管理・応急手当について         | 感染予防も含めた、健康管理について学ぶ。健康的に過ごすためには、適切な睡眠や十分な休養が必要不可欠なこと、疲労をためないことが大切であると理解する。自分の生活リズムを振り返る機会とする。緊急時の傷、止血の対応についても学ぶ。               | 年1回  | 実施後<br>1週間 |
| 2 | 「情報社会」<br>メディアリテラシーについて       | スマートフォンは生活から切り離すことができない状態である。使用を誤ると、誹謗中傷や権利侵害等、生徒は被害者のほか加害者になる可能性もあり、トラブルの原因となる。情報を客観的・多角的にみる意識付けと自分から情報発信する際の注意点を探究する。        | 年1回  | 実施後<br>1週間 |
| 3 | 「環境」<br>地球温暖化、自然災害など、自然現象について | 年々、夏の気温の上昇がニュース等で取り上げられ地球温暖化や異常気象を身近に感じるようになった。自身や家庭、地域で、どのような対応や対策をすべきか、考えさせる機会とする。   | 年1回  | 実施後<br>1週間 |
| 4 | 「選挙権」<br>成年年齢の引き下げに伴う選挙権、契約   | 成年年齢が引き下げられたことにより、高校生でも選挙権をもつようになった。若者の自己決定権を尊重し、社会への積極的な参加を促す機会とする。また、親の同意なしに様々な契約ができるようになり、そのためにトラブルが発生する等、責任もかかってくることを理解する。 | 年1回  | 実施後<br>1週間 |
| 5 | 「防災」<br>適切な避難行動と日頃の準備について     | 近年、自然災害による被害が後を絶たない。特に、「台風」「地震」「洪水」に焦点を当てて授業を行う。災害について理解するとともに、「防災」の面から、被害が最小限になるよう避難行動や日頃の準備について学ぶ。                           | 年2回  | 実施後<br>1週間 |
| 6 | 「進路」<br>将来について                | 卒業後の人生設計、社会で自立するために意識付けを行う。卒業生から体験を聞く時間を設けるほか、職業訓練校等から講師を招聘し進路について各自が考える時間とする。公的年金制度について学ぶ。                                    | 年2回  | 実施後<br>1週間 |